

## 論文要旨

学位論文題名 『アメリカスの文学的想像力：カリブからアメリカへ』

氏名 庄司宏子

本論文は、18世紀末の建国期から19世紀にかけてアメリカの文学や文化のさまざまな局面に、分身や鏡像、双子など、二つのものが反転あるいは転倒した関係をもちながら〈一対〉となった形象で反復強迫的に現れることに注目し、そうした想像力とは、15世紀末以降に始まり19世紀初頭まで続いたヨーロッパによる植民地支配の歴史と、その記憶を揺曳させる〈アメリカス〉から生み出されるものであることを考察したものである。

〈アメリカス〉とは、「複数のアメリカ」を意味するが、現在ではアメリカ合衆国に対して用いられる「アメリカ」という名称は、かつてはヨーロッパからの渡来者が新世界を指して用いた語であった。本論文では、〈アメリカス〉として、アメリカ合衆国からサン＝ドマング（現ハイチ）、メキシコ、キューバなどカリブ海地域にまたがる西半球の世界を論じる。この地には、15世紀末に始まる大航海時代以降、ヨーロッパの植民地が形成され、約400年にわたる植民地化が行われる。この間、〈アメリカス〉は、大西洋をまたいでヨーロッパとアフリカとのあいだで人、情報、言葉、思想が行き交うとともに、植民地支配と奴隷制度の歴史が刻まれる時空間となる。〈アメリカス〉の植民地世界には、宗主国による統治法や言語を異にしつつも、奴隷制度を基盤とする互いに類似点の多い経済構造や人口構成が発展し、クレオールの文化的交渉圏が成立する。

本論文は、そうした〈アメリカス〉から生み出されてくるクレオールの想像力として、植民地時代に起源をもち、現在もなお〈アメリカス〉の各地でみられる黒人と白人の姿が一対となったトプシー・ターヴィー人形をインスピレーションとしながら、19世紀アメリカの文学と文化に現れる〈一対〉のダブルの形象を文学、文化、思想のさまざまな領域のなかにたどり、そうした〈一対〉を生み出すアメリカの想像力に現れる主体性とその政治性を考察する。そして、その想像力とは、人種のメタファーをともなった〈黒い〉差異を創出しながら自国の白人性を構築しようとするアメリカ合衆国の自己形成によるものであると結論づける。

本論文の第I部は、植民地時代の影響をとどめる18世紀末の建国期のアメリカ合衆国が、カリブ海のサン＝ドマングの奴隷暴動を成功させて世界初の黒人共和国となったハイチを、自らの〈黒い〉差異としつつ、「大陸の白人国家」として自己形成してゆく様子を、チャールズ・ブロックデン・ブラウンやレオノーラ・サンセイの小説に追う。

あわせてマルティニック出身のクレオール・フレンチであるモロー・ド・サン＝メリーが記述した微細な人種の分類のなかに〈アメリカス〉で形成される人種概念とそれに基づくヒエラルキー構造を読み取り、サン＝ドマングのクレオール社会と建国期アメリカとの地政学的なつながりを論じる。

第 II 部では、カリブ海地域を経由してアメリカに浸透するメスメリズムがアンテベラム期のアメリカのセンチメンタリズムの文化に広がり、そこで及ぼした痕跡を、〈シンパシー〉をキーワードとして論じる。センチメンタリズムの苦しむ他者への共感という感情が、メスメリズムの他者支配的なシンパシーへと反転する様子をナサニエル・ホーソーンの実人生とその文学に辿る。

第 III 部では、19 世紀半ばから始まるアメリカとカリブ海地域、特にキューバとの政治的・経済的・文化的関係の強化のなかで登場するキューバ旅行記や小説のなかに、キューバをアングロ・アメリカとは異なる、カトリックで墮落した「オフ・ホワイト」な他者として創出しつつ、自己を優位に定位するアメリカの姿を考察し、アメリカの拡張主義や帝国主義と、旅行記など文学テキストとの共振を論じる。

終章においては、アメリカスの文学的想像力である〈ダブル〉を分節化させる根幹にあるものを、「植民地主義の模倣」というホミ・K・バーバの理論を参照枠としながら考察する。またバルバドス出身のアーティスト、ジョスリン・ガードナーのトプシー・ターヴィー人形を用いた展示アートを取り上げ、旧植民地出身者による〈南〉のカリブの視点から奴隷制度と植民地主義の歴史を問い直し、アメリカの差異としてではなく、〈クレオール〉としてカリブの主体構築をしようとする、21 世紀のアメリカスで展開されるポストコロニアリズム批評意識からの芸術的な実践を論じる。

本論文は、ポストコロニアリズムの批評理論を用いながら、19 世紀アメリカ文学に現れたさまざまなダブルの形象をアメリカ単独にみるのではなく、奴隷制度と植民地主義の暴力とその記憶を共有する〈アメリカス〉の地政学的空間で繰り広げられてきたアメリカとカリブとの歴史的、文化的交渉において捉えたものである。両者が明暗の反転した〈一対〉として繋がる関係を考察し、そこにハイブリッドな文化的混淆体としての、また文学・文化研究の領域としての〈アメリカス〉を構成したものである。